

## 私たちが築く未来の環境

取手市立取手第二中学校 二年

庄司 聖隆

皆さんは、今のこのような地球環境ができあがった確率を知っていますか。それは、約十の四万乗分の一と言われていきます。わかりやすく言うと、二十五メートルプールにバラバラにした時計の部品を入れて、それをかき混ぜ、再びもとの形に組み立てるのと同じ確率だといわれています。そんな、奇跡的にできあがった地球環境が、崩れつつあります。僕は、崩れそうな環境を守るために、できることはないだろうかと考えました。

僕は昨年度、生徒会役員としてSDGsを公約に掲げて一年間活動してきました。そのSDGsを取り入れた生徒会の活動を紹介します。まずは、毎年行っている緑の羽根募金や赤い羽根共同募金です。この活動は以前から継続して行っている活動ですが、SDGsの目標達成に貢献する活動だと知りました。また、園芸委員会が今年の夏、茨城県最大を目指して緑のカーテンを作りました。緑のカーテンは、太陽の熱を遮ることができるので、エアコンを使う機会を減らし、節電につながります。植えた八十三株のゴーヤは、二酸化炭素を吸収し、酸素を排出することができます。また、水はエアコンの室外機から出る水を使ったため、節水にもなりました。このように、昨年度、生徒会では各委員会を中心にSDGsに関する取組を行ってきました。では、もっと私たちができる対策はないのでしょうか。

皆さんは、「地球温暖化」についてどこまで知っていますか。地球温暖化とは、二酸化炭素やメタンという有毒な気体が排出されて温室効果ガスが多くなり、地球の気温が高くなるという問題です。

温暖化のリスクは、ただ単に気温が上がるだけではありません。まず、気温の上昇により北極の氷が溶けることで、連鎖的にシベリアの氷も溶けてメタンが発生します。そこからアマゾンの熱帯雨林に影響が及び、森はサバンナ化し、蓄えられていた二酸化炭素が大量に排出されます。最終的には、全て溶けると地球全体の海面が六メートル上昇するとも言われ、南極にまで影響が及びます。もし何も対策せず、海面が上昇すると、様々な影響が出ると予測されています。例えば、利根川の水位が一メートル上昇するだけで、取手市の大部分で浸水被害が見込まれます。更に、地球温暖化により台風などの異常気象も増えます。そこに、暮らしやすい生活があると思いますか。だからこそ、これ以上の進行を食い止めなければいけないのです。

そこで提案したいのが、「屋上緑化計画」です。それは、現在は使われていない二中の屋上を緑豊かなものにするというものです。屋上で植物を育てることには、多くのメリットがあります。先ほども述べたように、植物には、光合成をするというはたらきがあり、地球温暖化防止にもつながります。特に屋上は一番日光が当たるので光合成がしやすく、雨もよく当たるので十分な水分も確保できます。育てた花などは教室や廊下に置き、みんなの目を楽しませることがができます。一年目は少しの花を育て、二年目からは、花の種類や数を増やしていき、ゆくゆくは屋上を植物でいっぱいになりたいと考えます。そうすることで、地球温暖化の防止に少しでも貢献出来たら良いと思います。ほかにも、「電力OFFデイ」を設けたり、「二中雨水タンク」を設置したり、僕たちにできることはたくさんあると考えます。

私たち一人一人が環境問題について深く考え、行動をすれば、よりよい環境で生活を送ることができます。何もしないではダメなのです。実際、今も地球温暖化は進行しています。私たちの未来のために、「今」を変えることが重要です。このことを少しでも多くの人に知ってもらい、地球温暖化対策をしていく。それが、今の自分にできることです。他人に頼ってばかりでは、何も解決できません。環境を守るために、みなさんができることはありませんか。一緒に、よりよい未来を築いていきましょう。